

桃木小学校 竹田幸乃議員

わたしたちの将来について

Q 私は生まれて育った美祢市です。また、この緑の山々に囲まれた自然豊かな美祢市が大好きです。だから、安心して暮らしていけるように、美祢市にわたしたちが働ける場所を作ってほしいと思います。そのために、少子化対策として産婦人科をつくること、観光客を増やすことに取り組んでもらいたいと思います。

A 市長答弁

美祢市の人口は少しずつ減少しています。特に子どもたちの人口が少なくなり、言われるとおり、少子化が美祢市の課題になっていますが、美祢市内には、多くの会社や工場、お店や食堂などがあり、そこで多くの皆さんが働いています。私も皆さんが楽しく元気で働ける場所ができるよう頑張っています。皆さんも自分の希望の職業に就くことができるよう、しっかりと勉強してください。

次に美祢市に産婦人科があったらいいなどのご質問ですが、確かに今の美祢市内には産婦人科がありません。以

前は2つの産婦人科がありましたが、若い人が少なくなりお産の数も併せて少なくなり、更にお医者さんの人数も足りなくなってきたことが原因だろつと思えます。

このお医者さんが少なくなっている状況は、美祢市だけではなく、山口県でも、また全国でも大きな問題となっており、国もお医者さんの養成に取り組んでいます。お医者さんになるには時間がかかります。ですからお医者さん不足が解消するにはまだまだ数年は掛かると思いますが、現在、隣の市の病院でお産をしていただいています。議員の皆さんが大人になつてくる頃には安心してお産が出来る産婦人科ができていて、子どもたちがたくさん住んでいる美祢市になるよう頑張つて行きます。

次に、観光客がたくさん来ていただけようにするために、食べる、体験する、学ぶなど、観光客のニーズに対応した様々な美祢市の魅力ある情報をインターネットなどで発信したり、議員ご指摘のように新しい商品を作ったり、いろいろなアイデアを考えて、今までより少しでも多くの観光客が美祢市に来ていただけるよう努力していきます。

A 市長答弁

今年の3月に「第一次美祢市総合計画」という新しい市の計画をつくり、これからの10年の間に美祢市がどのような施策や事業に取り組むかを市民の皆さんに公表したところです。

この計画では「市民が夢、希望、誇りをもって暮らす交流拠点都市美祢市」を基本理念にしていて、そついつ美祢市を作るために市民の安全・安心の確保や産業の振興など5つの目標を掲げています。具体的には住民の生活に直接に関係する医療や消防、交通、福祉の充実や、市全体がもっと活性化し市民の暮らしが豊かになるために農業や商工業などの振興、また、色々な事業をするためにはお金が必要となりますので、市の財政を健全化するための様々な取り組みを行うこととしています。今回の計画は10年計画ですから、議員の皆さんが22歳になられるころには美祢市は「交流拠点都市」として活性化していると思つていただきたいと思います。

綾木小学校

平川文恵議員

いろいろな本に親しめる環境

私は、若い人が増えて、多くの観光客も美祢市に来ていただき、そして働く場所も増えるようになっていく、そのような美祢市になるよう頑張つてまいります。

別府小学校 山本 龍議員

こんな市になつたらいいな

Q 住みやすい美祢市にするための三つの提案をします。一つ目は買い物ができる大きな店を作ることです。二つ目は、美祢市ならではの特産物を作ることです。三つ目は子どもから大人までがふれ合える場所づくりやイベントの実施です。

A 市長答弁

1点目の質問ですが、確かに山口市や下関市には大きなお店がたくさんあります。残念ながら美祢市にはそのような店はありません。その理由のひとつは山口や下関に比べて美祢市は人口が少ないからだと思います。住んでいる人が少ないということはお店の商品を買う人も少ないということになります。いま市内には約500軒のお店がありますが、その中には何軒かの本

屋や電気屋もあります。皆さんが市外の大きなお店だけで買い物したら、市内の小さなお店はどうなつてしまつてしまうか。お客さんが少なくなつたり、全く来なくなつたりして困つてしまいます。議員も遠くの大きなお店で買物をするうちの1回だけでも、市内のお店で買物をしていたら、市内の小さなお店の人たちも大変助かると思います。

2点目の質問ですが、これは私も大変に素晴らしいアイデアだと思います。現在の美祢市の特産農産物としては全国的に有名な「秋芳梨」のほかに「厚保くり」や「美東ごぼう」などがあります。これらを原材料とした新しい商品の開発や研究を続けているところですが、まだまだヒット商品はできていないのが現状であります。最近では竹で作つた割箸や竹の子の水煮の販売を進めています。また美祢市を代表する有名なものとはなつていません。でもいつかは宮島の紅葉饅頭や岡山吉備団子のように有名なものを作りたいて考えています。議員をはじめとする小学生の皆さんにも良いアイデアがありましたら教えてくださいたいと思います。

3点目の質問ですが、現在、

城原小学校

増村 心議員

今後のまわりくわらん

Q 美祢市のお年寄りや子どもたちが気軽に交流を楽しめるまちづくりについて、どのような施策や今後の計画があるのでしょうか。

子ども議会決議書

平成20年3月21日に1市2町が合併し、新しい美祢市が誕生して今年で3年目を迎えました。そのころ、小学校3年生だった私たちも、今は6年生になり、心も体も大きく成長しました。新美祢市も私たちと同じように大きく成長してきていると思います。

今日は、市内の小学校から21名の子ども議員が集まり、新しい美祢市になってから初めての子ども議会が開催されました。

それぞれの学校でがんばっている友だちからいろいろな考えを聞いたり、意見を交換したりして、美祢市の今、そして、これからをしっかりと考えることができました。

そこで、今日の子ども議会で出された意見をまとめ、子ども議会は次のように決議します。

- 一、自然環境の保護と観光施策をさらにすすめていくを通して、美祢市が誇れる美しい自然を守るとともに、たくさんの人に美祢市に訪れてもらい、美しい自然にふれてもらったり、心温かな地域の人々との交流をしてもらったりできるような町づくりを進めます。
- 一、公園などの施設を増やしたり、新たに自然とふれあえるような施設づくりを通して、美祢市に住む人々が明るくいきいきと生活できるような町づくりを進めます。
- 一、道路や鉄道などの交通網やインターネットなどの情報網の整備を通して、みんなが安心して楽しく暮らせる町づくりを進めます。
- 一、住む場所や働く場所、また、商業施設や図書館の充実を通して、みんながこの町なら安心して子育てができると感じ、たくさんの人に住んでもらえるような町づくりを進めます。

私たちのふるさとである美祢市は、日本一のカルスト台地である秋吉台をはじめとして、豊かな自然に囲まれた美しい町です。またセメントの材料である石灰岩の日本一の産地でもあり、世界に誇れるすばらしい町だと思います。心やさしい人々がたくさん暮らしていることも私たちの自慢です。



わたしたちはそんなすばらしい美祢市をたくさんの人に知ってもらい、もっともっと好きになってほしいと思っています。

今日の子ども議会は、美祢市について見つめ直すよい機会になりました。私たち、21名は、これからそれぞれの学校に帰って、今日の貴重な体験をたくさんのお友だちに伝えていきます。そして、みんなですつかり「ふるさと美祢市」について考え、力を合わせて、だれもが、ずっとここで生活したいと思えるような、誇りがもてる美祢市にしていきたいと思ひます。

ここに、私たちは、「美祢市の未来を創る」大人へと成長していくことを誓います。

平成 22年8月4日 子ども議会